

Monthly Repo. ならやま

◆5月21日(火) 晴れ 4名+5名

第5地区の道路沿いのスギ樹を関西電力が伐採。これでこの地区の整備が可能となった。

◆5月23日(木) 晴れ 56名+5名

吉岡先生に現場で第5地区の整備について意見をいただく。

里山Gは、しいたけ・なめこのほだ木を林内に本伏せ。自転車道・観察路の危険木の処分、薪づくり。

農園Gは、ゴーヤ・サンドマメ・ナスなどの支柱づくり。菜の花の種の収穫。ジャガイモ・サトイモ畑の除草。

景観Gは、彩りの森、ベースキャンプ周辺、ならやま会館前の除草。水路の整備、池のアオミドロ除去。近畿大学の学生がシマヨシノボリを持参・放流、これでタナゴ・ドブガイ・ヨシノボリの繁殖サイクルが完成した。

◆5月30日(木) 小雨後曇り 41名

早朝から小雨が降っていたが、活動開始時には雨もあがり、ホタルブクロの赤紫色も一段と鮮やかであった。

第5地区の整備に向けて、関係者が現地調査を行い、里山Gはスギの伐採を開始。

農園Gは、エンドウ・タマネギ・ニンニクの収穫。田植え準備。

景観Gは、ならやま会館前・ならやま大通りの除草。湿地横の水路整備、池の生物調査。フラワーロードへのマリーゴールドの植え付け。

◆5月31日(金) 曇り 4名

6月6日の田植えに向けて、水田の整備。

◆6月6日(木) 晴れ 59名+30名

第5地区について、スギの伐採、笹刈りを本格的に開始。

梅雨に入ったものの雨がまったく降らないので、

農園、花壇、クヌギ苗圃、佐保自然の森、フラワーロードへの灌水作業に追われる。

自然観察路をパトロール隊の案内のもとにならやま委員会メンバーが点検し、安全性が確認された。



佐保台小学校の5年生が田植え実習。

泥まみれになる子もなく、無事に植えつ

けが終わった。残りの田は早乙女さんと田植え初経験者が植えた。どちらの田植えが良かったかは稲刈りを楽しみに。

◆6月13日(木) 晴れ 56名+2名

カシノナガキクイムシの被害回避に向けて、ならやま里山林内に、粘着トラップを34箇所

配置。さらに前年度の被害樹について、成虫の脱出防止に向けて粘着紙でグルグル巻き。



第5地区ではスギの伐採、笹刈り作業を継続実施。雨がまったく降らないので、彩の森、佐保自然の森、BCの花壇等への灌水作業に力を注ぐ。雨よ！早く降れ！

減少傾向にあるコクランの分布調査の開始にあたり、会員に協力要請。

◆6月17日(月) 12名+3名

ホタル鑑賞会。午後8時にベースキャンプに集合し、彩の森まで探索。昨年以上に多くのホタルが見られた。

◆6月20日(木) 雨天につき活動中止。

(木村 裕)